

石川県立羽松高等学校
校長 岡野 清

1 教育目標

「克己・精進」の校訓のもと、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 素直で大人しい生徒である。不登校経験者等の多様な生徒である。転・編入学、特別選抜入学をする生徒もいる。
- ② 生徒一人一人の学習歴・成育歴等が異なり、生徒一人一人の学習面（学び直し等）や生活面（起床就寝等）における様々な課題を持っている。
- ③ 自己有用感や自己効力感が低く、他者との円滑なコミュニケーションが不得意な生徒が見られる。また、発達障害などの困難を抱え、自立支援が必要な生徒もいる。
- ④ 予測が困難な社会において安心・安全な学校づくりを更に推進するとともに、保護者や関係機関とも連携し、健康・安全・防災への取組や生徒への支援の更なる充実を図る。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 円滑なコミュニケーション力を育成し、他者を思いやる心を育むための指導法を工夫する。また、「通級」における有効な指導法を教員全員で共有し、通常級の取り組みに生かす。
- ② 基本的な生活習慣を身に付け、豊かな心と健康な身体の保持増進に努めるとともに、安全を意識して行動する生徒を育成する。
- ③ 社会（地域）と積極的に関わり、地域とともに学びあうことで、自らの生活を主体的にまた豊かに創造しようとする力を育てる。
- ④ 正規就労など望ましい勤労観、職業観を育成し、生徒一人一人が進路実現を目指すための支援を行う。就労支援に関する諸機関や地元企業との連携を深め、キャリア教育を充実させる。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 常に学び合う姿勢を持つとともに、教育のユニバーサルデザインを推進し、多様な背景を持つ生徒への指導・支援をさらに改善・向上する。
- ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために、生徒が1人1台端末を使うような授業を日常的に実施する等、ICT機器を効果的に活用する授業の工夫・改善に努め、生徒の多様性に対応した学びの実現と学びの質の保証をさらに改善・向上する。
- ③ 生徒一人一人の豊かな心を育み、コミュニケーション力の向上を図るための取り組みを学校全体でさらに改善・推進する。
- ④ 校務の適切な分担や業務改善の意識を高め、適正で効率的な前例踏襲にとらわれない校務の遂行に努める。また、教職員の危機管理意識を高め、生徒の安心・安全に配慮した学校づくりを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① 保護者、中学校、外部機関（やすらぎ教室、臨床心理士会・医療機関、本校独自のスクール・キャリア・アドバイザー等）などの連携をさらに進めるとともに、授業改善（わかる・わかった）、行事（自己効力感や協調性等）や進路指導（キャリア教育の充実）などを通して、「居場所づくり」と「絆づくり」を中心に、登校したくなる学校づくりを推進し、生徒一人一人が活躍できる集団をつくる。
- ② 今求められる必要な力を育成するとともに、生徒一人一人の「適性と能力」「学習上または生活上の困難さ」などに応じたきめ細やかな学習支援を行うため、授業のユニバーサルデザイン、ICT機器の活用やAI学習教材等により、授業改善（わかる・わかった）をさらに図る。
- ③ 基本的な生活習慣を確立し規範意識をさらに高めるとともに、道徳心や倫理観の向上をさらに図る。
- ④ 学校行事等に積極的に参加することを通して自己効力感や協調性、コミュニケーション力をさらに高めるとともに、非常時に適切な行動ができる資質・能力をさらに育成する。
- ⑤ 教職員のウェルビーイングに繋げるため、働き方改革を推進しワークライフバランスをさらに改善するとともに、度重なる大規模災害を踏まえ、災害対応力をさらに強化する。